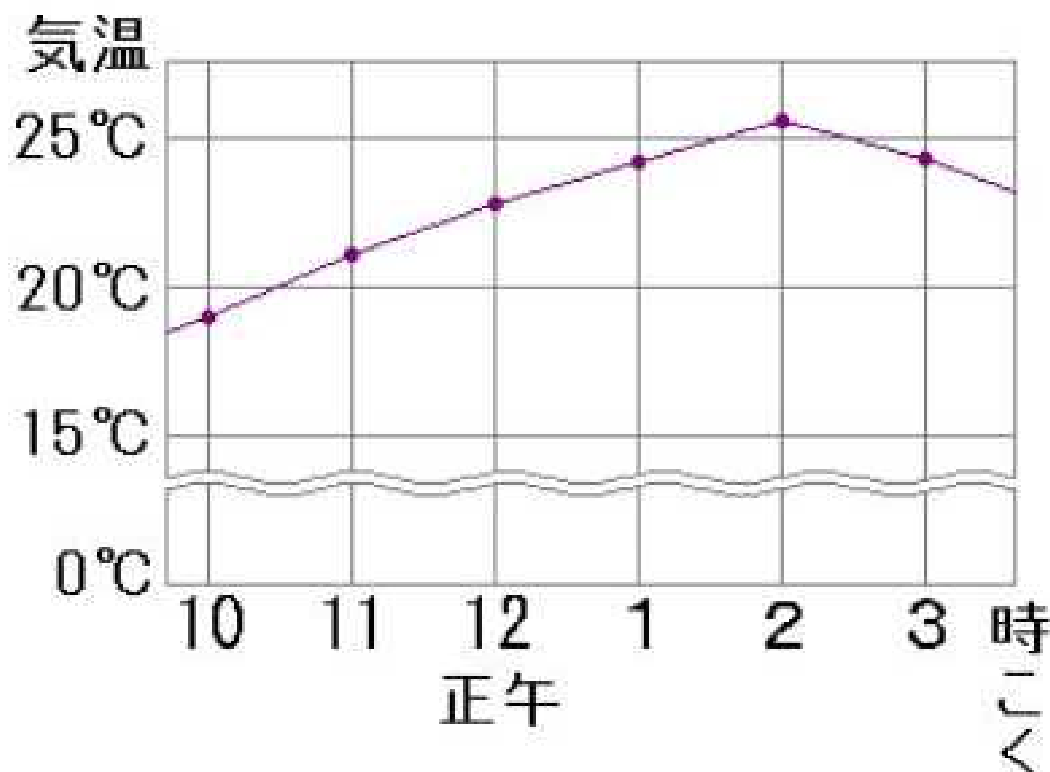


時こくによる気温の変化

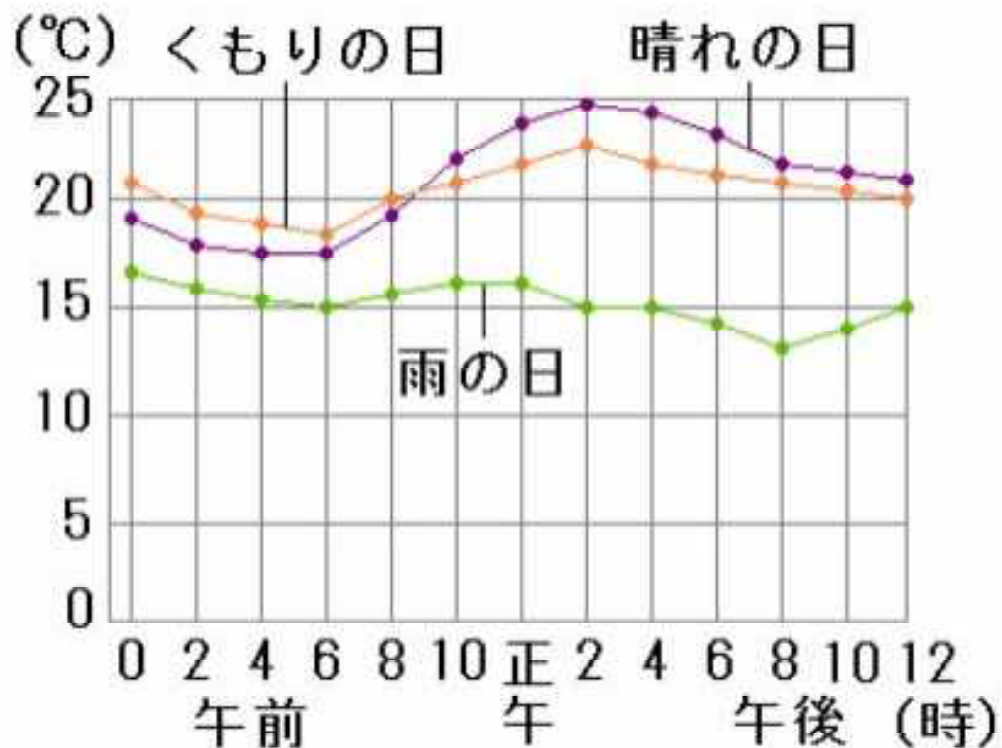
晴れた日の1日の気温の変わり方を1時間ごとに記録しました。
それをグラフにすると下のようになりました。



左のグラフから、次のようなことがわかります。

- 1日の気温は、朝から昼すぎにかけて上がり、**午後2時**ごろにもっとも高くなる。
- その後、夕方になるにつれて少しずつ下がっていく。

くもりや雨の日の気温の変化

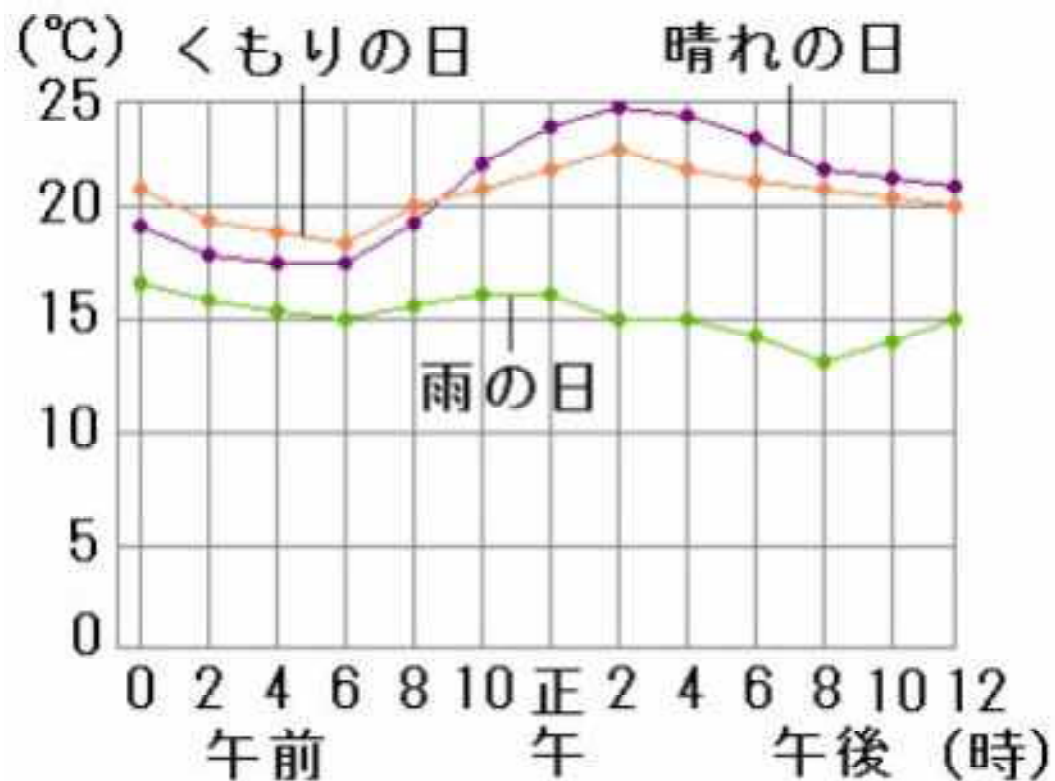


先ほどの晴れの日の気温の変化のグラフに，くもりと雨の日の気温の変化のグラフを重ねました。

- くもりや雨の日は，雲によって日光がさえぎられるので，気温が上がりにくい。
- くもりや雨の日の夜は，雲が多いので熱がにげにくく，気温が下がりにくい。

- よって，くもりや雨の日は，1日の気温の高低のちがいが，晴れの日にくらべて小さい。

天気と気温の変化



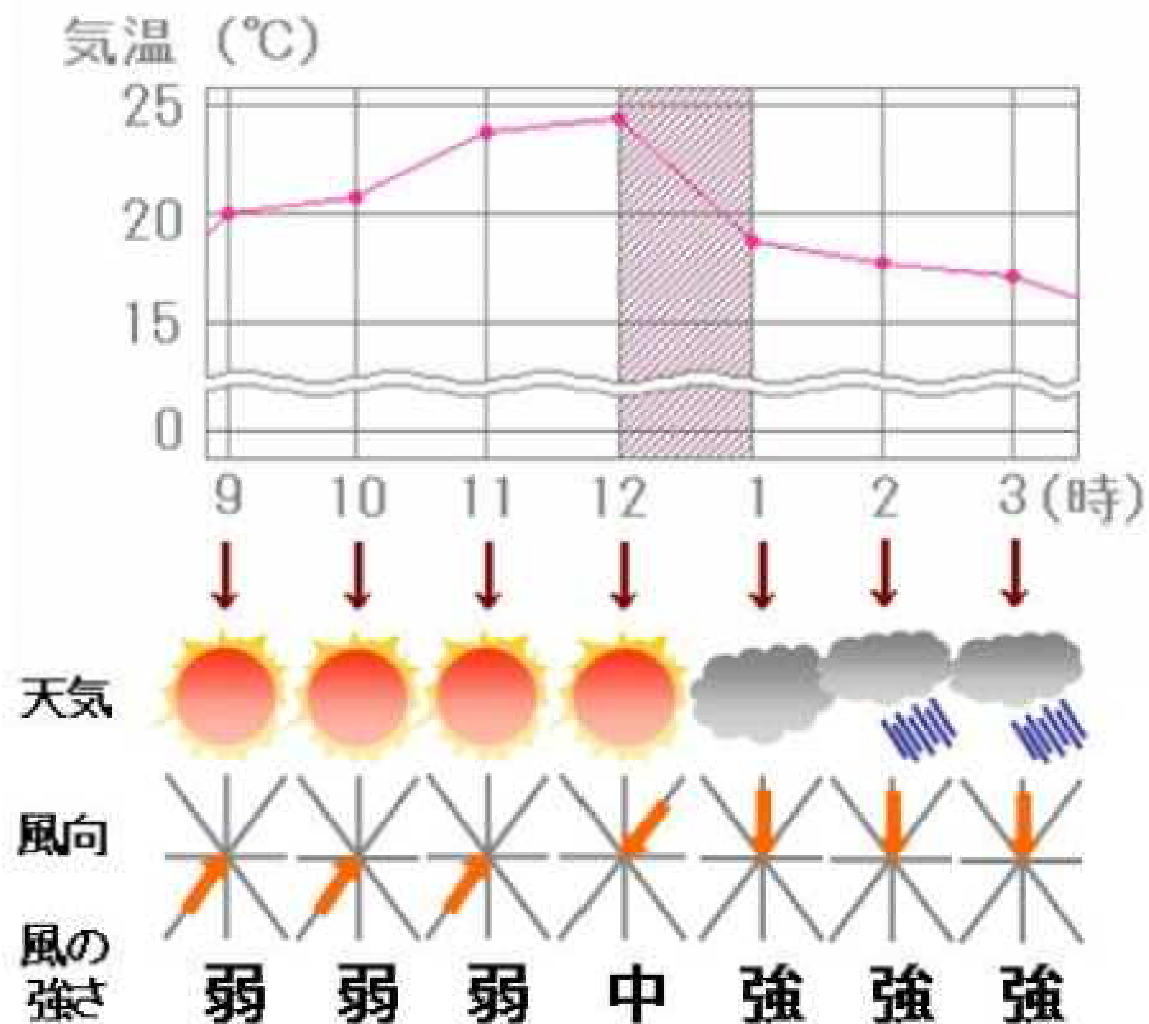
ちがっているところ

- 晴れの日には気温の変化が大きく、最高気温と最低気温の差が大きい。
- くもりや雨の日は、1日の気温の変化が小さい。

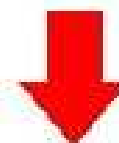
にているところ

- くもりや雨の日でも、気温は昼すぎごろがいちばん高く、日の出のころがいちばん低い。

風や雲の広がり方と気温



12時30分ごろに，急に天気が変化し，強い風と雨になった。



晴れた日でも，ある時こくに，急に風の向きや強さが変わったり，雲の量や気温が変化することがある。



北から風がふいていることを表す。